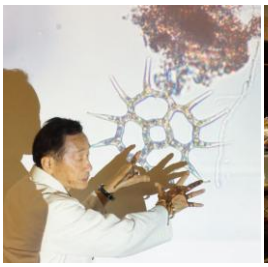
おおつ環境フォーラム
第108号
発行日：2026年11月1日
発　行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
（大津市地球温暖化防止活動推進センター）
住　所：〒520-0047大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津4階
電　話：077(526)7545
フォーラムHP：https://eco-otsu.net
Eメール(事務所)：forum@eco-otsu.net

＜事務局長から＞　晩秋の候 樹々が色づきはじめる好季節を迎えました。令和8年度事業も皆様のご協力により順調に進行いたしております。過日、理事懇談会を開催し、次年度事業計画作成に向けた考え方を協議し、温暖化の視点を意識した取り組みになるように進めることとしました。一歩進んだ取り組みに皆様の力強いご支援ご協力をお願いいたします。寒さに向かい、ご自愛くださいますように。　会員数109名（2026年10月末現在）

■トピックス

○ おおつ市民環境塾 講座5「琵琶湖のプランクトンを観察しよう」を開催しました





8月23日、びわ湖大津館におおつ市民環境塾講座5「琵琶湖のプランクトンを観察しよう」を開催しました。申し込みは32人でしたが、キャンセルが多発し参加は24人(うち子ども9人)でした。

講座は、おおつ環境フォーラムの一瀬聡博士による講義と琵琶湖環境科学研究センター環境監視部門の４人の先生方の指導で進められました。はじめに会場前の湖岸に出て、先生がプランクトンを採取する様子を見学しました。会場に戻り「琵琶湖の多様な生きものを支えるものは何か」や「プランクトンとは」などを学びました。続いて採取したプランクトンを、本格的な顕微鏡を使って観察し「淡水プランクトン検索表」と見比べて種類別の数を調べました。また、スタッフが事前に北湖(びわ湖大橋米プラザ前)で採水したプランクトンについても種類別の数を調べました。南湖(会場前)のプランクトンは北湖に比べ種類も総数も多く、特に動物プランクトンは南湖、北湖で大きく違っていました。

この講座は、従来、４歳児以上の児童とその家族を対象とした自然家族事業として実施していましたが、幼児が本格的な顕微鏡を扱うのは無理があるため、一般向けの講座に衣替えして実施したものです。一般向けとはいえ小学生の参加者も多かったため、自由研究のまとめ方についても詳しく説明されました。

○ おおつ市民環境塾 講座6「琵琶湖周辺の水場の多様な生きもの」を開催しました




9月26日、ふれあいプラザに琵琶湖博物館主任学芸員の鈴木隆仁博士をお招きし、おおつ市民環境塾講座6「琵琶湖周辺の水場の多様な生きもの」を開催しました。定員一杯の申し込みがありましたがキャンセルや無断欠席が多く参加は18人でした。

小学生のころ世の中にいる得体のしれない小さな生きものに興味を持ったのがきっかけとの自己紹介を導入に、琵琶湖の歴史や多様性とはどういうことかとの問いかけから、琵琶湖や水田などの微小生物を中心に生物多様性を支える生きものについてお話しいただきました。琵琶湖には1,800種を超える多様な生きものが棲み、その大半は顕微鏡サイズの生きものです。これらが湖岸の多様性とともに生きものの多様性を支えています。ただ、ある種は特定の種しか食べない偏食家で、ほかにどんなに多くの種がいようと関係ないのです。このようなつながりがいくつも存在していることが大事にすべき多様性なのです。琵琶湖の微小生物の紹介に次いで、生きものにとって極めて過酷な環境にある水田の豊かな生物多様性についても紹介されました。また、孤立した水場にどうやって生きものが入り込むのか、琵琶湖博物館の人工池を池干した後の経過観察した話など興味深いお話が多く、質疑応答も活発でした。

○ 自然家族事業 びわ湖の日②「カヌー体験と生きもの観察」を開催しました

10月3日、雄琴5丁目のオーパルにて自然家族事業びわ湖の日②「カヌー体験と生きもの観察」を開催し、申し込み40家族から抽選で選ばれた24家族67人(うち未就学児6人、小学生30人、ほかにキャンセル4家族)が参加されました。

挨拶・諸注意の後、2班に分かれ、A班はカヌー体験へ、B班の幼児組は貝拾い、小学生組はプランクトン観察へ。カヌー体験では、オーパルスタッフから乗り方、パドル操作、転覆時の注意などの説明を受けた後、救命胴

衣を着けて湖に漕ぎ出しました。先導艇に続いて漕ぎ進め、ヨシ帯の観察もして約40分間体験をしました。はじめは方向が定まらなかった船も自在に漕げるようになりました。B班の幼児組は保護者とともに桟橋近くの浅瀬でオーパルスタッフの指導で貝拾いをし、タニシ、カワニナ、シジミやタテボシガイ等を集めました。プランクトン観察組は、オーパル講師の概要説明の後、湖岸桟橋でプランクトンネットによるプランクトン採取を体験しました。会議室に戻り、顕微鏡でプランクトンを観察し、見つけたプランクトンをスケッチして、図録と見比べて名前を調べました。いろいろなプランクトンがすめるきれいな琵琶湖にするにはどうしたらいいかも考えました。各班それぞれ体験が済んだところで、後半はA、B入れ替わって体験しました(A班に幼児はいないので貝拾いはなし)。水位が高めでしたが、秋晴れの爽やかなお天気の下、事故なく活動を楽しんでいただけました。






プロジェクト等からの活動報告・お知らせ

≪ビオトープづくりプロジェクト≫

9月26日、27日に京都府立植物園で開催された「きょうと☆いきものフェス！2026」に「北大路の生きもの」をテーマにしたブースをおおつ環境フォーラムとして出展しました。2日間の来場者が8,000人超の大イベントで、今年で3年連続の出展です。北大路どろんこと一ぷに棲む生きものを前日に捕えて飼育ケースに入れ、会場に持ち込みました。生きもの大好きな家族連れがやってくるイベントなので、熱心に生きものを観察する子が多くいました。カマキリ、カナヘビ、シマゲンゴロウは特に人気で、多くの子どもたちが実物を見ながらぬり絵を楽しんでいました。10月4日、北大路どろんこと一ぷで生きもの調査をしました。11時ごろから小雨が降りだし、コナラの大木の下にも雨粒がしたたり落ちてきたため、少し早く活動を切り上げました。





アメリカザリガニ、メダカ、ドジョウ、シマゲンゴロウ、オニヤンマのヤゴなどが見つかりました。

≪理事会≫

9月17日、10月1日、14日に理事、事業の主担当者、事務局の懇談会を開催し、フォーラムの事業について議論しました。初回は市環境政策課にも参加いただき環境政策動向、フォーラム事業の振り返り、今後の方向について、2-3回目で各事業の考え方、改善すべき点等を踏まえた方向付けについて議論しました。

■これからのフォーラム活動　本文に記載の予定は省略

プロジェクト等の名称	日　時	場 所 ・ 内 容 [ ]内は予備日
プロジェクト		
子どもが遊べる川づくり	12月 19日(土) 10：00	キラリエ草津〃「第18回淡海川づくりフォーラム」参加
ビオトープづくり	11月　7日(土)　9：00	瀬田公園〃自然家族事業里山の日②の準備
	12月 12日(土)　9：00	春日山ビオトープ〃補修整備、池干し作業
	1月 16日(土)　9：00	北大路どろんこと一ぷ〃補修整備
里山保全	毎週(月)(水)(金)　9：00	春日山公園と隣接地〃例会・作業(12月26日～1月7日休止)
エネルギー	11月 10日(火) 10：00	大津市センター〃定例会議
	11月 16日(月) 13：30	大津市センター〃エコ料理チーム会議
	12月　1日(火) 10：00	大津市センター〃定例会議
	12月　7日(月)　9：00	平野コミュニティセンター〃エコ料理教室リハーサル
	1月 12日(火) 10：00	大津市センター〃定例会議
委員会・実行チーム		
おおつ市民環境塾実行チーム	11月　7日(土) 10：00	堅田駅西口集合 本堅田地区〃講座8秋の自然観察会[11/21]
	12月 13日(日) 10：00	平野コミュニティセンター〃講座9エコで得しておいしく食べよう
	1月 16日(土) 14：00	ふれあいプラザ〃講座10家庭でできる温暖化防止 省エネ
自然家族事業実行チーム	11月 14日(土) 10：00	瀬田公園〃里山の日②ドングリをひろってあそぼう

＊大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津4F）